

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本目標 I	数値目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	
地域特性を活かした、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率 2024年度 1.46 (2040年度 1.8)	1.35	1.34	1.47	1.25	-	目標達成 途上

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
① 出会いから結婚までに着目したソフト政策の強化	若い世代に受け入れられやすいマッチングシステムの登録を推進し、県全域からどこからでも独身者がスマホ等で相手を探せるよう、県内市町が広域的に連携。	マッチングシステム登録件数	-	40件	16件	40件	48件	58件 (36件が退会)	-	目標達成 途上
	結婚を望む町民を支援するため、結婚相談会の開催。	結婚相談会開催件数 新規登録者数	36回 19件	36回 20件	27回 12件	24回 5件	33回 16件	33回 5件	-	目標達成 途上
	若者の交流・出会いの機会を創出する。	若者の交流・出会いイベント参加者数	1回開催 男女各9名参加	1回開催 男女各20名参加	コロナ禍により未実施	コロナ禍により未実施	計3回 14名	計6回 0名	-	目標達成 途上
② これまでの施策を継続し、さらに発展させる子育て応援プラン	小中学校における給食無償化事業の継続。	給食無償提供数	250,853食	対象者100%提供	252,118食	264,141食	253,642食	244,687食	-	目標達成
	大学等への修学の機会を確保するため、保護者に対し教育資金を支援。	教育資金支援件数	14件	20件	17件	19件	18件	16件	-	目標達成 途上
	子育てしながら、働きやすい環境にするため延長保育・時間外保育を実施。	延長保育・長時間保育利用者数	198人	希望者100% 受入れ	174人 受入 100%	177人 受入 100%	308人 受入 100%	332人 受入 100%	-	目標達成
	安全・安心な居場所づくりを確保し、子育てしながら、働きやすい環境にするため、放課後児童クラブによる共働き世帯の児童の受入れ体制を整備。	放課後健全育成事業登録者数	415人	希望者100% 受入れ	323人 受入 100%	360人 受入 100%	306人 受入 100%	317人 受入 100%	-	目標達成

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
③ 子育て世代が安心できる環境づくり	働き方や職場環境を見直すことから男女が共にいきいきと活躍できる社会を目指しワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進。	—	—	—	コロナ禍によりディスカッション中止	住民へ意識調査を実施	関連イベントを2回開催	関連イベントを2回開催	—	目標達成 途上
	保護者からのニーズも踏まえ、0歳児保育の受入れ環境を拡充。	0歳児保育受入施設数	6園	7園	6園	6園	7園	7園	—	目標達成
	育児相談、家庭保育に関する相談のワンストップ窓口としての子育て支援センターの体制充実	子育て支援センター利用者数	7,651人	利用者に100%対応	7,944人 100%対応	5,742人 100%対応	6,035人 100%対応	7,612人 100%対応	—	目標達成
④ 教育環境の充実により、若い世代が住みたくなるまちをつくる	学校までの通学距離が長い児童・生徒に対して、保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学費の支援を実施	遠距離通学者支援数	29人	100%の支援	26人	24人	27人	35人	—	目標達成
	青少年の犯罪被害の未然防止のため、地域住民との連携により「子ども見守り隊」「子どもかけ込み所」などを設置	子どもかけ込み所数	247件	270件	247件	236件	233件	219件	—	目標達成 途上

施策数	委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会開催件数の目標値が36件となっており盆と正月の休みを考えると33件となっているのであればKPIの目標値自体を33回と訂正した方がよい ・希望者100%受入れとなっているが、希望する保護者について情報取得漏れはないのか。
12		
目標達成数		
5		
達成率		
41.67%		

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本目標Ⅱ	数値目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	
地域資源を活用した安定雇用の創出	町内就職数 2024年度までに累計800人増加	195	178	192	188	-	目標達成 途上

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑤ 町内での従業員数を、さらに拡大するための施策	次世代を担う農業者の育成・確保に向け、就農準備、経営開始に要する資金の交付など新規就農支援体制を整備。	新規就農に関する支援等の取組み件数	3件	10件	3件	4件	6件 1名が新規就農	1件	-	目標達成
	安定した地域経済を維持していくため、創業支援、事業承継や地域産業の活性化等の施策を推進。	創業・事業継承事業者数	-	延べ5件	創業者6件	セミナー参加3名 創業者2名	セミナー参加22名 創業者2名	セミナー参加21名 創業者1名	-	目標達成 途上
⑥ 町民の雇用に結びつための施策	永平寺町の地域特性(北陸自動車道と中部縦貫自動車道の結節点、地域未来投資促進法による重点促進区域、大学立地)を活かすため、県及び関係各課と連携し都市計画・農業などの土地規制について見直し、企業が進出しやすい環境づくりを推進	町外からの企業誘致件数	-	3件	1件	0件	1件	0件	-	目標達成 途上
	雇用対策協定を締結しているハローワーク福井と連携して、就職相談会やセミナーを開催	就労・雇用相談件数	-	延べ50件	ミニ面接会開催	ハローワークと連携	ハローワークと連携	ハローワークと連携	-	目標達成 途上

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑥ 町民の雇用に結びつくための施策	求職者と町内採用企業とのマッチング体制を構築。特に、女性・子育て母親への支援を軸とした雇用、就労支援を実施	就労・雇用相談件数	—	延べ50件	セミナー2回 ミニ面接会 10回	セミナー1回 就職相談 会1回	セミナー1回 就職相談 会1回	セミナー6回 就職相談 会1回	—	目標達成 途上
	元気で豊かな経験と知恵を持った働く意欲のある高齢者の働きたいという希望を叶え、元気で生活をおくる高齢者の人生の質を高め生涯現役を実現するため、シルバー人材センター等が行うセミナー開催や技能講習会開催を支援	セミナー開催 技能講習会開催件数	31人 68人	30人 50人	24人 12人	42人 0人	18人 0人	28人 60人	—	目標達成
⑦ コロナ禍、コロナ後に焦点を合わせた観光施策(観光業の維持)	近隣市町の観光資源を、歴史、文化、自然、産業といったテーマ別にストーリーを持った観光資源として結び付け、回遊性のある観光を推進するため、関係市町等との協議会を組織し、共同での情報発信やルート作為性などを行い、広域観光の連携を推進。	観光入込者数	106万人	110万人	コロナ禍により体験ツアー中止	体験ツアーをまとめたサイトを構築し、人流が戻った時の情報提供やツアーの実施への準備を行う	3市町を巡るモデルツアーを開催	越前加賀広域観光推進協議会の取組を実施	—	目標達成 途上
	海外に向け、外国人観光客を対象として観光地の魅力、発信力の強化を行うため、電子版外国語版観光パンフレットの作成等を通して観光誘客を推進。	大本山永平寺 外国人参拝者数	1.5万人	1.5万人	観光パンフレット・観光看板の刷新	観光HP・観光看板の刷新	観光HP・英語版パンフレット作成・看板設置等	観光ポスター作成	—	目標達成 途上

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑧ 観光業の推進による雇用の創出	町内で活動している観光関係団体の機能整理、活動充実を図り、withコロナや新しい働き方に対応する体験型観光商品の造成、情報発信、観光商談会、継続的なおもてなし活動の強化を推進。	観光入込者数	106万人	110万人	コロナ禍により観光入込者数減	観光物産協会が主体となり域内連携事業を実施 参画団体数 14	観光物産協会が主体となり域内連携事業を実施	観光物産協会が主体となり域内連携事業を実施	-	目標達成 途上
	観光誘客を目的として、観光地の魅力・発信力の強化を行うため、観光看板、観光パンフレット、観光ホームページの充実を図るとともに、新たな情報発信方法として、SNS・動画による観光誘客を推進	観光入込者数	106万人	110万人	観光パンフレット・観光看板の刷新 SNSを活用した情報発信	観光HP・観光看板のデザイン の刷新 SNSを活用した情報発信	観光HP・観光看板のデザイン の刷新 SNSを活用した情報発信	観光HP・観光看板のデザイン の刷新 SNSを活用した情報発信 パンフレットは様々なサイズを作成	-	目標達成 途上

施策数	委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会には、金融機関にも入っていただくとよい。 ・福井北IC付近は、魅力的な候補地と考えられる。変電所付近の高架鉄塔は何とかならないのか。 ・子育てママが働く場所が見当たらない。子育てしやすいまちではあるが、子育てママが町内で働くことができることを見える化できるとよい。マザーズハローワークなど、出産などで離職したママが手の空いた時に働けるようなフォローや就職後のフォローアップも大切。女性のキャリアアップ。すきまをうめる仕組みを作る。 ・ワシントンポストに掲載され、外国人が注目している。中には空き家を見つけ住みたいと考えている人もいるが、どこをみてよいのかわからない。観光、定住の情報をつなげる仕組みが欲しい。 ・オーバーツーリズムとなっている地域の観光客を受け入れることも視野にいれる。情報発信、プロモーションが弱い。福井へ来ていただける発信が必要。宿泊場所が少なく、滞在していただけるしかけを考えたほうが良い
10		
目標達成数		
2		
達成率		
20.00%		

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本目標Ⅲ	数値目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	
永平寺町への新しい人の流れをつくる	人口の社会減から社会増へ (2024年度)	5	-30	69	-71	-	目標達成 途上

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑨ 地方回帰・分散の流れを見据えた移住戦略	年末年始、大型連休の里帰り時期に、移住・定住を考えている相談者向けに総合的な支援相談会・窓口を開設。	移住、定住相談会での相談人数	—	15人	ハロワーク IJU就職相談件数6人	ハロワーク IJU就職相談件数0人	移住フェアの参加計4回 移住者交流会2回開催	移住相談会へオンライン参加 移住フェア参加計5回	-	目標達成
	町外在住の方が永平寺町に移住し、新しい視点から町の様々なまちづくりに協力する地域おこし協力隊制度の活用	地域おこし協力隊人数	延べ3人	延べ2人	0人	4人	1名	3名	-	目標達成
	都市部からの地方回帰の動きに合せ、転入者の増加を目指し、テレワークやサテライトオフィス等の拠点を整備	IT拠点施設利用者数	—	延べ2,000人	令和3年度開設に向けて事業を推進	2,810人	2,048人	1,906人	-	目標達成
⑨ 地方回帰・分散の流れを見据えた移住戦略	地域の魅力をPRすると共に、新婚世帯への支援など移住に関する補助制度を拡充	定住補助制度利用による転入居者数	137人	延べ700人	277人	167人	150人	164人	-	目標達成
	民間の未利用地などを活かした小規模宅地造成を推進	小規模宅地造成数	—	2箇所	山王地区	山王地区	-	清水地区	-	目標達成 途上
	空き家等情報バンクの充実、活用促進を図るとともに、民間事業者及び専門家と連携した空き家無料相談会など相談体制を構築	空き家相談会の開催数 空き家を利用した定住件数	— 3件	延べ5件 延べ20件	2件 9件	2件 4件	1件 6件	1件 8件	-	目標達成

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑨ 地方回帰・分散の流れを見据えた移住戦略	町と関わりをもっている方と町民との交流やマッチングの場の提供	—	—	—	四季の森複合施設の整備	各種研修会やイベントの場として四季の森旧傘松閣を活用	広域連携交流会、移住者交流会、Maas関連研修会を実施	移住者交流会、Maas関連研修会を実施	—	目標達成 途上
⑩ 町内にある様々な技術の承継支援	地域が有する技術の承継を維持していくため、日本政策金融公庫、商工会と連携して事業承継セミナーを開催	創業・事業継承事業者数	—	延べ5件	創業塾 8名参加	創業塾 24名参加	創業塾 22名参加	創業塾 21名参加	—	目標達成 途上
	永平寺町の地域資源やまちの魅力を地域愛の醸成につなげるために、情報発信力を強化。	SNSの情報発信数	—	延べ2,500回	319回	256回	facebookアクセス数 19,771アクセス	facebookアクセス数 32,878アクセス	—	目標達成 途上
⑪ 学生等若者が実際にまちづくり活動を実施していくための支援	地域住民と交流が生まれるまちづくりを目指し、学生や若者による地域での活動を支援	地域活動参加学生数	81人	延べ350人	永平寺町学16名	永平寺町学18名	永平寺町学16名	永平寺町学28名	—	目標達成 途上
⑫ スポーツ振興によるイメージアップ戦略	地域のスポーツチーム応援による町民意識の向上および次世代アスリートの育成の環境充実 (R4追加)	スポーツイベントを開催した町内会数	—	延べ40回	—	—	14回	18回	—	目標達成 途上
⑫ スポーツ振興によるイメージアップ戦略	各地区で開催されるスポーツ活動の推進およびスポーツ振興に携わる団体等への支援 (R4追加)	スポーツイベントを開催した町内会数	—	延べ40回	—	—	14回	18回	—	目標達成 途上

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

⑫ スポーツ振興によるイメージアップ戦略	地域のスポーツチームに係る町外からの選手のU・Iターン、移住・定住支援(R4追加)	スポーツイベントを開催した町内会数	—	延べ40回	—	—	14回	18回	—	目標達成途上
----------------------	---	-------------------	---	-------	---	---	-----	-----	---	--------

施策数	委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会拠点として設定しているのなら、その視点を事業にもっと反映させるべきではないか。 ・移住者ニーズをしっかりと分析し、ターゲットを絞った取り組みをしてほしい。 ・宅地造成を町内各地で一気に進めることはできないのか。 ・新築件数が減ってきており、メーカーも空き家を改修して販売するなどしている。バンク登録件数は順調なようなので、住みたい方と空き家所有者とのマッチングが進むよう、この調子で進めてもらいたい。 ・交流会開催時には、金融機関にもはいついていただいて、学生にも声をかけて幅広い参加者でやってほうがよい。 ・情報発信について、他ツール利用も視野に入れてほしい
13		
目標達成数		
5		
達成率		
38.46%		

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本目標Ⅳ	数値目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成状況
		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	
未来を見据えた、生活しやすい(生活に便利な)まちをつくる	町民満足度調査(2024年度) 住みやすいと感じる人の割合 86.5%	-	89%	87.20%	-	-	目標達成 途上

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑬ 地域組織の育成により、まずは「ひとづくり」への取り組み	町内各地で若い世代が地域づくりの担い手となるよう組織の設立や活動を支援	ジュニアリーダー加入者数	28人	延べ140人	28人	27人	26人	21人	-	目標達成 途上
	地域間・産業分野の垣根を越えた連携を推進し、地域経済の好循環を創出していくため、意見交換を定期的実施	産学官民連携交流会の開催回数	5回	延べ20回	広域連携交流会1回	広域連携交流会3回	広域連携交流会3回	広域連携交流会4回	-	目標達成 途上
	持続可能な地域社会の形成を図るため、自治会・地域における、地域資源を活かした住民相互による自発的な地域づくり活動を支援	わがまち夢プラン育成支援事業申請件数 地区振興協議会加入自治会	4件 加入率46%	延べ20件 加入率61%	1件 51%	1件 51%	3件	5件 58%	-	目標達成 途上
	医療の質の向上を目指し、専門医による診断を遠隔で行えるシステムの整備や、パソコンタブレット等の機器類の整備を支援。 →令和6年度より事業廃止	タブレット整備台数	-	タブレット整備支援台数3台	0台	0台	0台	0台		
	マイナンバーカードの普及促進のため、町民への情報発信、申請サポート体制の強化	マイナンバーカード発行数	2,284枚	5,000枚	3,088枚	2,971枚	4,769枚	1,906枚	-	目標達成

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑭ 先端技術を活用した生活の 利便性向上への 取組み	最先端技術を採用し運行している自動走行技術を活かし、AIやIoTを含め自動化や省人化技術等の未来技術を有する企業と連携することで、町への投資や企業の誘致を推進	新しいモビリティサービス利用者数 (自動運転)	—	延べ7万人	214人	2,680人	1,036人	1,229人	—	目標達成 途上
	生産性の向上や業務の効率化を目指し、町内、町外企業と連携を行うIoT推進ラボの活動を強化、また、IoT技術導入の促進等の環境整備を支援。	—	—	—	企業相談 会1回	企業周知 1回	企業周知 0回	商工会を通じた情報提供2回 メーカーと協力しアプリ実証	—	目標達成 途上
	IoTへの理解度を深め利用の促進を図るため、利用者である町民に対し、利用方法等のセミナーを開催	—	—	—	スマホ教室 4回	講習会3回	スマホ教室 12回	スマホ教室12回 ハピコイン 利用者説明会	—	目標達成 途上
	仕事と休暇を組み合わせ、町の施設を活用しテレワークなどで働くワーケーションなど新しい切り口で長期滞在者の誘客を促進	四季の森整備(総合政策課) ワーケーション(商工観光課)	—	—	令和3年リニューアルオープンに向けた施設整備	域内連携事業(ワーケーション事業)の実施 4企業4名	域内連携事業(ワーケーション事業)の実施	域内連携事業(ワーケーション事業)の実施	—	目標達成 途上
⑮ 人と物の移動を自由に する、MaaSの取 組み	北陸新幹線福井延伸、中部縦貫自動車道の福井県全線開通に対応し、町内観光地へのアクセス向上を図るため、広域的な交通手段の確保と案内強化を実施	観光入込数	—	—	新幹線開業に向けた関係団体との連携を強化	新幹線開業に向けた関係団体との連携を強化	新幹線開業に向けた関係団体との連携を強化	新幹線開業に向けた関係団体との連携を強化	—	目標達成 途上

◎令和5年度永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証結果

基本方針	基本施策・内容	KPI	現状	目標値	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	達成状況
⑮ 人と物の移動を自由にする、MaaSの取組み	生活様式の変化に対応し、利用者の移動利便性を高めるため、必要なテクノロジーを積極的に導入	新しいモビリティサービス利用者数	—	延べ7万人	自動運転レベル3の達成	自動運転レベル4実現に向けた実証	・政府目標である自動運転レベル4の社会実装を目指す。 ・近助タクシーの導入地区を、3地区に拡大。	国内初レベル4自動運転の達成	—	目標達成 途上
	健康寿命の延伸を図るため、高齢者の生活を支援	新しいモビリティサービス利用者数 (デマンドタクシー)	—	延べ7万人	近助タクシー2,041人	近助タクシー5,891人	近助タクシー11,625人	近助タクシー11,804人	—	目標達成 途上
	コミュニティバスの改編やフルデマンドタクシーの導入を行い、子どもからお年寄りまで安心して地域で暮らしながら公共サービスにアクセスできる公共交通サービスのネットワークを構築	近助タクシー(4,800人) 自動走行(9,200人) 公共交通ネットワーク(36,000人)	32,559人/年	36,000人/年	22,249人	住民ニーズに合わせた交通体系の構築	29,167人	28,472人	—	目標達成 途上

施策数	委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダー→ユースリーダー→地区振興会といったように段階的にステップアップしていく仕組みの中で自然と地域づくりの担い手育成されるような流れを検討してほしい。 ・地区振興会の関係者の高齢化が進んでいるため、若い世代に将来的に、振興会の立ち上げなど地域づくりに携わる人材になってほしい。 ・DX、デジタル化の視点を持ち進めてほしい ・基本方針の「先端技術を活用」という点がどう反映するか。ワーケーションの形が確立しつつあるので、このまま継続して取り組んでいていただきたい。ワーケーションに参加した方がまた永平寺町に訪れたかを後追いで調査してほしい。 ・永平寺町は交通の便が悪くはない。移住、定住、雇用促進のことを考えても、企業誘致を進めたほうがよい。
12		
目標達成数		
1		
達成率		
8.33%		